

発行責任者 病院長 川和忠治
編集責任者 広報副委員長 山本松男
本号編集担当 中村幸生

〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1 TEL 03-3787-1151
ホームページ：<http://www.senzoku.showa-u.ac.jp/>

共同診療室開設のお知らせ

昭和大学歯科病院副院長 佐藤裕二

これまで当病院では、専門診療科が力を合わせて患者さんの診療に当たってきました。しかしながら、治療内容によって各診療科で別々に診療を受けなければならないというご不便をおかけしてきました。そこで、昨年7月より総合診療歯科を開設し、歯にかかわる全般的な治療を1人の歯科医師が中心となって効率よく行えるようにしました。これをさらに発展させ、一般的な一般歯科治療（う蝕治療、歯の根の治療、歯周病治療、ブリッジ、入れ歯など）をそれぞれの専門家が同じ場所で共同して行うことで、患者さんの移動の手間がなく、連携して高度な治療を共同して行うために、4階環七側に「共同診療室」というスペースを設置しました。また、すべての患者さんに対して各専門家の担当医以外に2-3名の臨床実習学生を配属し、常に担当医の診察・診療の補助をいたします。また、レントゲン撮影、抜歯などの際には、ずっと患者さんに付き添います。治療内容により複数の専門担当医が治療に当たりますが、常に同じ学生が付き添いますので、治療に関するご相談などはお気軽にいただけます。学生が長期にわたり継続して患者さんと関わることにより、患者さんの気持ちのわかる歯科医師を育成することも本診療室の目的の1つです。ご理解のほどよろしく願いいたします。

患者様からのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善等
1. 診察室の温度について	1. 回答：小児歯科の診察室が暑く気持ちが悪くなったとのご意見をいただきました。これまで冷房は外気温度により運転を行っております。今後は外気温度だけではなく、室内の温度・湿度にも配慮し、適宜運転を致します。
2. 予約の確認と守衛室の電話応対について	2. 回答：休日・時間外はコンピュータが停止しており、現状では予約確認ができません。大変申し分けございませんが、診療時間内にお問い合わせ下さる様宜しくお願い致します。守衛の電話応対に対する苦情については、注意を促し改善を図りました。
3. 職員の態度について	3. 回答：中央検査室職員の態度が悪いと、お叱りの投書がありました。ご不快な印象を与えたこととお詫び致します。部署・職員に注意を促しました。患者様に不愉快な印象を与えぬ様、職員の接遇教育を推進致します。

昭和大学(歯科病院)公開講座のお知らせ

第8回 昭和大学(歯科病院)公開講座

日 時：平成17年10月15日(土)午後1時～午後3時30分
場 所：昭和大学歯科病院 6階 第二臨床講堂

メインテーマ『暮らしと健康』
サブテーマ『お口の健康』

司 会 外川事務長, 総合司会 佐藤副院長
挨 拶 川和病院長 13:00～

○第一講演者 13:05～14:10(65分)
昭和大学歯学部歯科矯正学教室
講師：榎 宏太郎(まき こうたろう) 教授
演 題 「いつ?どのように?いくらかかるか?歯列矯正のすべて」

○第二講演者 14:15～15:20(65分)
昭和大学歯学部歯周病学教室
講師：山本 松男(やまもと まつお) 教授
演 題 「健康増進、歯周病と全身のつながり」

質疑応答 15:20～15:30(約10分)
歯科衛生士による、簡単な口腔の清掃および口腔衛生指導 15:30～終了(希望者のみ)

歯科病院だより編集責任者交代のお知らせ

歯科病院広報副委員長：山本松男

歯科病院だより編集を前任の高齢者歯科学講座佐藤裕二教授より引き継ぎました、歯周病学教室の山本松男と申します。本号より歯科病院だよりを担当させて頂きます。昭和大学歯科病院では、我々病院スタッフの歯科医療への取り組みを患者さまに理解して頂くために、またよりよい医療サービスを提供することのできる環境整備のために患者さまからのご意見をうかがう場として、歯科病院だよりを定期的に発行しております。喜ばれる歯科医療の実践と、すぐれた歯科医師、歯科衛生士教育の場として、社会に貢献のできる歯科病院としてますます努力をしていくように考えております。皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。



昭和大学歯科病院が紹介されました

- 6/4発行のリビング新聞(東京中央・南・西各紙)に編集記事「リビングパートナーのイチオシの病院! ～歯医者さん編～」で昭和大学歯科病院が紹介されました。
- 6/7発行の日本歯科新聞に、顎口腔疾患制御外科学教室・道脇幸博先生のご研究が「嚥下運動 四次元観測に成功」と題して報道されました。